

2月13日の日本列島は南寄りの風が吹き荒れ、各地で春一番が観測されました。
春の足音が少しずつ近づいてきましたが、まだまだ寒さは続きそうです。

予防接種のご案内

麻しん、風しん 2期・3期・4期対象の方はお早めに

H18年度の対象となる方は、今年の3月までに接種してください。
対象年齢を過ぎると無料で接種できなくなります。

第1期:生後12ヶ月～23ヶ月

第2期:小学校就学前1年間(平成14年4月2日～15年4月1日生まれ)

第3期:中学1年生(平成7年4月2日～8年4月1日生まれ)

第4期:高校3年生(平成2年4月2日～3年4月1日生まれ)



ヒブワクチンの予約受付中

インフルエンザ菌による感染症(髄膜炎、敗血症、肺炎など)に対する予防。

接種対象者:生後2ヶ月以上、5歳未満

接種時期:生後2ヶ月以上7ヶ月未満 初回免疫 3回 追加免疫 1回

生後7ヶ月以上1歳未満 初回免疫 2回 追加免疫 1回

1歳上5歳未満 1回接種のみ

予約制となりますのでご希望の方はスタッフに声をかけてください。

(料金1回 7500円)

受付終了時間が変更になります。

午前診

診察のみ → AM11時45分までに

注射・点滴・リハビリをご希望の方 → AM11時30分までに

午後診

診察のみ → PM7時45分までに

注射・点滴・リハビリをご希望の方 → PM7時30分までに

申し訳ありませんがご協力よろしくお願い致します。



ジェネリック薬品も

取り扱っております。

ただし、院外処方となります。

ご希望の方はスタッフまでお気軽に声をかけて下さい。

花粉症



※花粉症とは？

スギやヒノキなどの花粉が原因となってくしゃみ、鼻水、鼻づまり、目のかゆみなどのアレルギー症状を起こす病気です。原因となる花粉が飛散する時期にだけ症状が現れるため、季節性アレルギー性鼻炎とも言われています。

※花粉症はどうして起こるの？

ヒトの体には外から入ってきた外敵（細菌やウイルスなど）をやっつけるという免疫反応があります。免疫は本来、体にとってプラスのはたらきをするのに、時と場合によっては過剰に反応し、やっかいな『アレルギー』となります。花粉（アレルゲン）が体内に入ると、抗体のひとつであるI g E抗体が作り出されます。侵入したアレルゲンと作られたI g E抗体が反応して、アレルギー症状を引き起こします。

※花粉が舞い飛ぶ時期は？

分類	原因花粉	飛散期
樹木	スギ、ヒノキ、マツ、ブナ、イチョウなど	2月～5月
イネ科、草	カモガヤ、オオアワガエリ、ナガハグサ、ホソムギなど	3月～10月
雑草	ブタクサ、カナムグラ、ヨモギなど	8月～10月

※日常生活の対策は？

規則正しい生活をしましょう

不規則な生活やストレスによって自律神経のバランスが崩れてしまうと、ちょっとした刺激でも症状が出てしまいます。生活のリズムを守って健康的に過ごしましょう。

外出時の服装

出来るだけ花粉が付きにくい素材（化繊・木綿生地など）を選びましょう。付いた花粉も落としやすくなります。マスク、メガネを着用して花粉を遠ざけましょう。湿らせたガーゼをマスクにはさむと鼻に適度な湿気を与え、粘膜を守ることにもなり、花粉防止効果も一段とアップします。

花粉を家の中に入れないようにしましょう

花粉は気温の高い午後に多く飛びます。掃除や洗濯は出来るだけ午前中に済ませ、なるべく窓を開けず、花粉が室内に入るのを防ぎましょう。

帰宅したら

家に入る前に、必ず衣服に付いた花粉を払い落としましょう。また、目を洗う、うがい、鼻をかむなど目、鼻、のどの花粉を取り除きましょう。

※花粉症の治療は？

かゆみを引き起こすヒスタミンの作用を阻止する抗アレルギー薬や症状が重くなると短期間のステロイド剤の内服が必要となります。また、症状が治まったといっても、花粉症が治ったわけではありません。かかりつけ医の指示にしたがって、根気よく治療を続けることが大切です。まずはご相談下さい。